

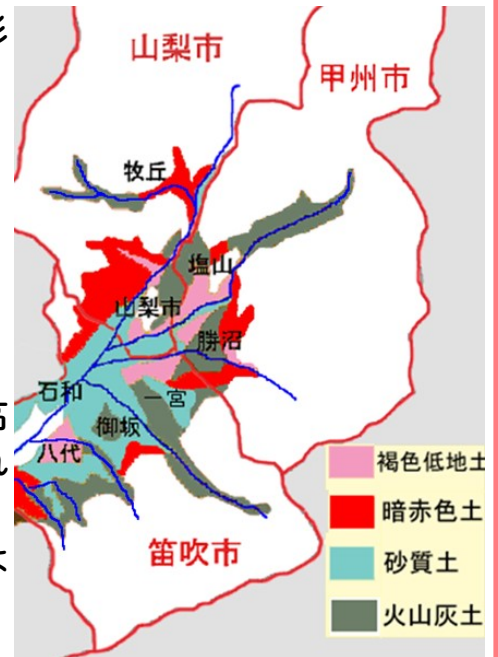
果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



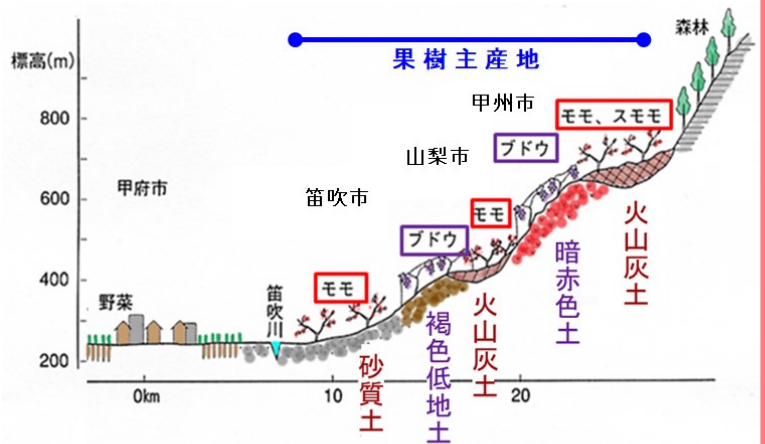
山梨県内果樹産地の地形と土壌



- 県内果樹産地、特に峡東地域のモモ産地について地形と土壌から概観した結果をお知らせします。
- 峡東地域は甲府盆地の東端に位置します。周囲を山地に囲まれ、ところどころの谷部から流れ出した中小河川が集まって笛吹川となり、甲府の南方部で釜無川と合流しています。
- このような河川による影響の結果、本地域の地形は、1)地帯:盆地の縁部分にあたる高標高の傾斜地、2)地帯:小高い丘の上に位置し、河川の影響を逃れた中標高の台地、3)地帯:傾斜が緩やかになるにしたがい流された土壌が堆積した低標高の沖積地、に分類されます。
- 分布する土壌は地形に対応します。1)地帯:傾斜面には重粘質の暗赤色土が盆地を一周するように分布します。谷部や比較的平坦な地域には火山灰が堆積し、ノッペイといわれる火山灰土壌が分布します。2)地帯:安定した台地地面には、やや粘質な真土と呼ばれる褐色低地土が分布します。3)地帯:河川により運ばれた土砂が堆積した砂質土が分布します。
- そして土壌の違いは、栽培する果樹の種類にも影響します。ツル性のブドウは枝の徒長を嫌うため、肥沃度のやや低い粘質の土壌が適します。立木のモモやスモモの根は、酸素要求量が高く、空気が多い火山灰土を好みます。
- 各地域で栽培されている果樹の種類を調査すると、各地域に分布する土壌の特性に応じて作物が選択され、適地適作が行われていることが解ります。これに気象要因や品種要因を加えて、多様性に富む県内果樹産業が展開されています。



峡東地域における土壌分布



峡東地域における地形、土壌と果樹生産の関係